

## 図書室だより vol. 15

いつも、文化の森てんえい「図書室」をご利用いただき、ありがとうございます。  
今月も皆さんからのリクエストのほか、新刊・話題の本を数多く取り扱っていきますので、ぜひご利用ください。

### 文化の森からのお知らせ



#### フリーアナウンサー大和田 新&シンガーソングライター詠美衣 トーク&ライブ

平成29年7月23日13時30分から文化の森てんえいにて、フリーアナウンサー大和田新とシンガーソングライター詠美衣さんのトーク&ライブが行われました。

大和田新さんの講演では、命の大切さや、夢を持つことの大切さなど、様々な実話をもとに公演いただきました。  
また、詠美衣さんは自らの生い立ちや、なくなってしまった友人に贈るメッセージを歌に込めて歌っていただきました。



### 今月のおすすめコーナー

・月間おすすめ本紹介コーナーでは、読者の皆さんから図書室内の本について他の人にお勧めしたい本を200文字程度で書いてもらい、その作品を紹介するコーナーとなります。  
おすすめ本紹介は、図書室カウンター前に応募用紙がありますので、おすすめしたい本がありましたらぜひ投稿してください。

- ・募集期間 随時
- ・募集内容 文化の森 てんえい「図書室」内にある図書
- ・投稿文字数 200文字程度

・おすすめしたい本を2作品紹介いたします。

#### 館長のおすすめ本

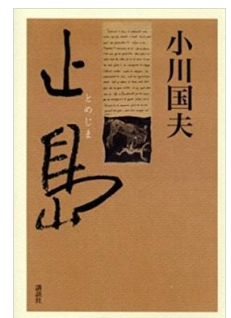
【止島】 著・小川国夫 講談社

小川国夫という作家の本は読んだことが無いので、手にしてみた。

表題の「止島」は、おこうさん、というお婆さんが、孫を疫痢に感染させてしまい、孫は、止島という場所にある避病院へ隔離されてしまう。その後孫は治癒したが、今度はおこうさんが病に倒れて亡くなってしまふ。そして、そのおこうさんを偲びながら、夫である惣五さんも亡くなってしまふ。という物語である。

その他に、亡くなった母に恋心を相談する「母さん、教えてくれ」や、尊敬する先輩との交流を描いた「志願」等も収録されている。

一言でいうと、「純文学」という感じである。主に、戦前の静岡県藤枝を舞台に、そこに生きていた人々の些細な、しかし、朴訥な人生を素朴に表現している短編集である。



#### T さんのおすすめ本

【わたしたちのてんごくバス】 ボブ・グレアム:作 こだま ともこ:訳 さ・えら書房

ある朝、ステラの家の前に捨てられていたおんぼろバス。近所の人たちがバスを綺麗にし、好きなものを持ち寄り、いつしかそこは彼らにとって居心地のいい「てんごく」な場所となりました。しかし、ある日突然レッカー一車がやってきてバスを撤去してしまいます。バスを取り戻すため、ステラはゲームに挑みます。バスは取り戻せるのでしょうか……。

一台のバスによって人々の心が一つになる素敵なお話です。私たちも自分にとって「てんごく」な場所を見つけたいですね。

